



# メール受信シナリオ作成マニュアル

NTTアドバンステクノロジー株式会社

## 目次

1 はじめに.....	1
1.1 プロトコル.....	1
1.2 認証方式.....	1
1.3 制限事項.....	1
2 シナリオ作成手順.....	3
2.1 ライブラリの表示.....	3
2.2 メール受信設定.....	5
2.2.1 メール管理タブのメール受信設定.....	5
2.2.2 メール受信設定インポート.....	10
2.2.3 メール受信設定.....	13
2.3 メール受信.....	18
2.4 メール選択.....	20
2.5 メール情報取得.....	23
3 ライブラリ・プロパティの一覧.....	26
3.1 メールフォルダ同期.....	26
3.2 メール処理済み削除.....	26
3.3 メール削除.....	27
3.4 メール受信.....	27
3.5 メール受信設定.....	27
3.6 メール受信設定インポート.....	27
3.7 メール情報コピー.....	28
3.8 メール情報取得.....	29
3.9 メール状態変更.....	29
3.10 メール選択.....	29
3.11 添付ファイル名取得.....	29

# WinActor メール受信シナリオ作成マニュアル

## 1 はじめに

本説明書では、WinActor を使ってメール受信するための、シナリオ作成手順について説明します。

### 1.1 プロトコル

WinActor を使ってメール受信する際の通信プロトコルについて次の表に示します。

表 1-1 プロトコル

No	通信プロトコル	説明
1	POP3	Post Office Protocol Version3。 TCP/IP ネットワークにおいて、電子メールを受信するためのプロトコル。 ※STARTTLS を利用することも可能です。
2	POP3S	POP3 over SSL/TLS。 POP3 の伝送路を、SSL/TLS を組み合わせて暗号化するためのプロトコル。

### 1.2 認証方式

接続先メールサーバとの認証方式について次の表に示します。

表 1-2 認証方式

No	認証方式	説明
1	USER/PASS 認証	ユーザ名とパスワードによる認証方式。 パスワードは平文のままサーバに送信されます。
2	APOP 認証	ユーザ名とパスワードによる認証方式。 パスワードは暗号化されてサーバに送信されます。

### 1.3 制限事項

メール受信をするにあたっての制限事項は次のとおりです。

- 受信メールには、会議予約メールなどの一部受信できないメールがあります。また、一部のHTML メールも受信することができません。

## WinActor メール受信シナリオ作成マニュアル

- 接続先メールサーバはUIDLコマンドに対応している必要があります。UIDLコマンド非対応の場合、エラーメッセージ「メールの受信に失敗しました。」が表示されます。
- 送信日が存在しないメールを受信した場合は、受信日を送信日として扱います。

# WinActor メール受信シナリオ作成マニュアル

## 2 シナリオ作成手順

メール受信のライブラリを使ってメール受信を行います。以下、メール受信するシナリオの作成例として、下記①～④を行うシナリオの作成手順を説明します。

- ①メール受信設定
- ②メール受信
- ③メール選択
- ④メール情報取得

### 2.1 ライブラリの表示

フローチャート画面のライブラリタブを選択し、「20\_メール関連」とその配下に存在する「03\_WinActor メール管理」を順にダブルクリックして展開します。

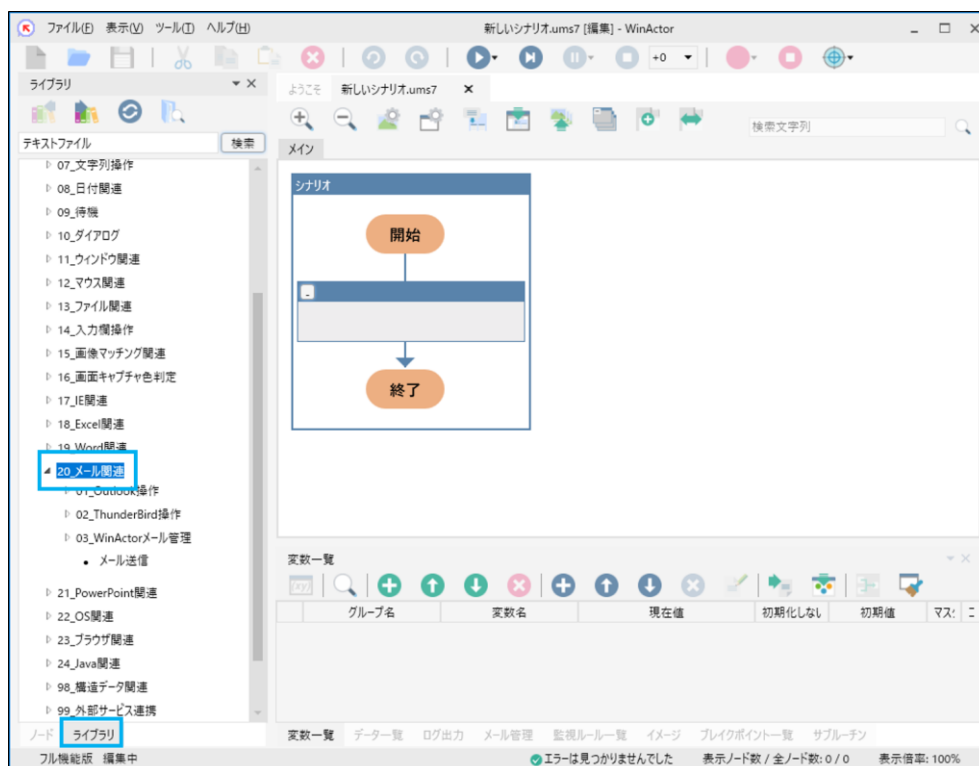


図 2-1 ライブラリタブから「20\_メール関連」を展開

# WinActor メール受信シナリオ作成マニュアル

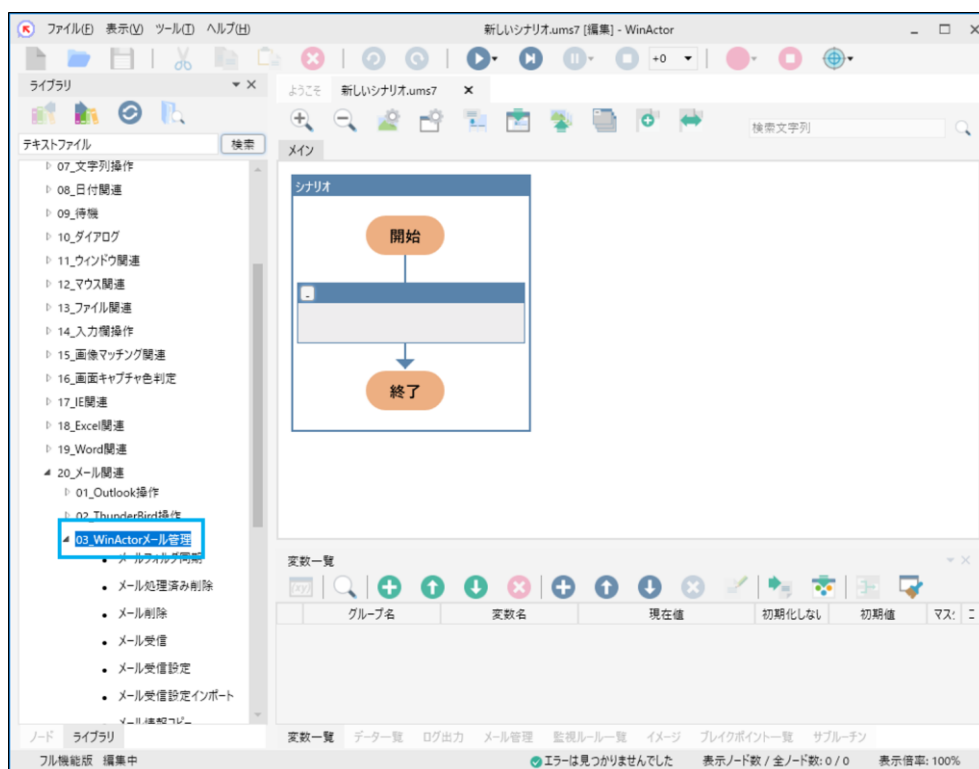


図 2-2 ライブラリタブから「03\_WinActor メール管理」を展開

## WinActor メール受信シナリオ作成マニュアル

### 2.2 メール受信設定

メール受信を行うには、メール受信設定を下記のいずれかで行う必要があります。

- ・メール管理画面のメール受信設定
- ・メール受信設定インポートノード
- ・メール受信設定ノード

メール受信ノードを実行する前に、メール受信設定が行われていない場合や、メール保存先に指定したフォルダが存在しない場合は、メール受信で失敗となります。

#### 「添付ファイルの保存について」

初期値では添付ファイルを保存しない設定となっているため、添付ファイルも受信する場合は、「添付ファイルを保存する」にチェックを入れてください。また、添付ファイルを保存する場合でも、初期値では「\*.exe \*.bat \*.vbs \*.msi \*.jar」が保存対象外となっています。保存する場合は、「次の拡張子の添付ファイルは保存しない」のチェックを外すか、「拡張子」の指定を変更してください。

#### 2.2.1 メール管理タブのメール受信設定

この章では、メール管理タブを使用したメール受信設定方法について記載します。メール管理タブにて設定した場合は、シナリオにメール受信設定インポートノードやメール受信設定ノードがなくても、メール受信が可能です。

また、設定内容は WinActor にて保存され、次回起動時にも設定された内容で表示されます。

① 「メール管理」タブを選択します。

(メール管理タブについては、操作マニュアルを参照ください。)



図 2-3 メール管理画面の表示

# WinActor メール受信シナリオ作成マニュアル

- ② メール管理タブのメール受信パラメータ設定ボタンを押し、メール受信設定プロパティを表示します。

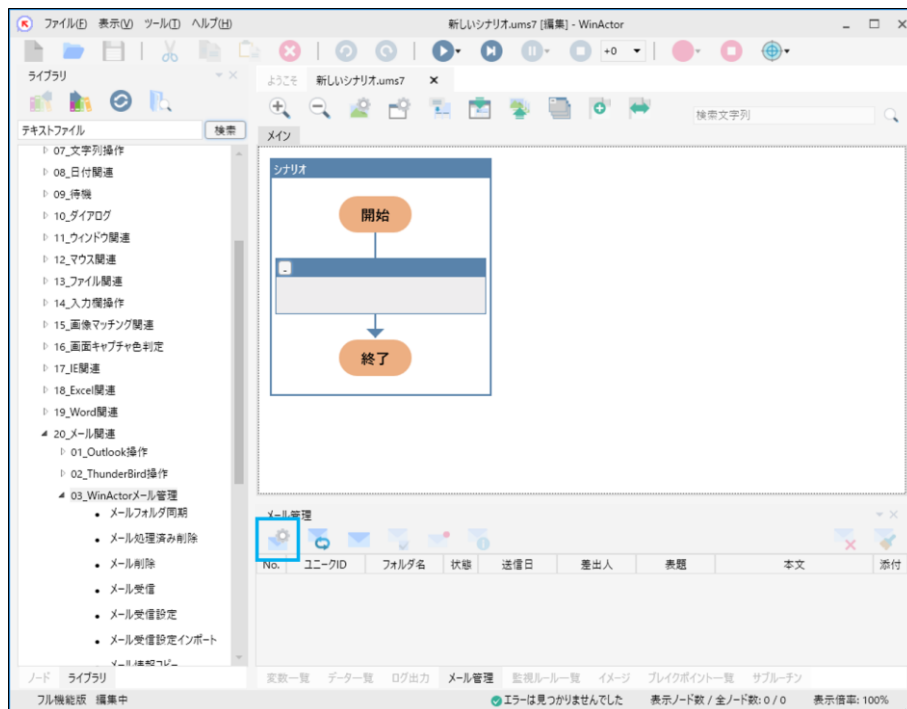


図 2-4 メール管理タブのメール受信設定の表示

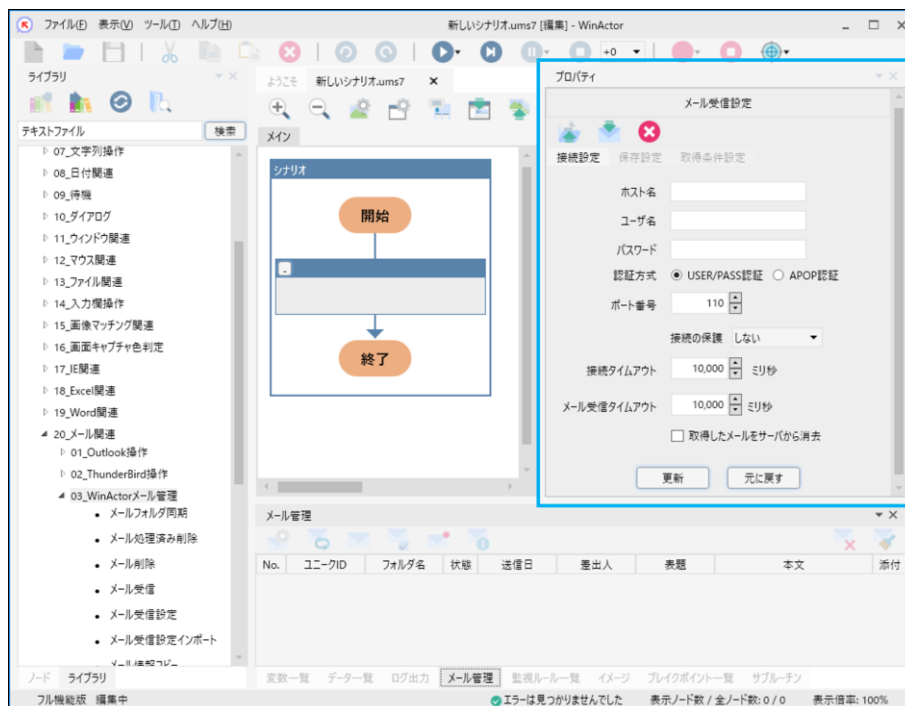


図 2-5 メール受信設定プロパティ(接続設定タブ)



# WinActor メール受信シナリオ作成マニュアル

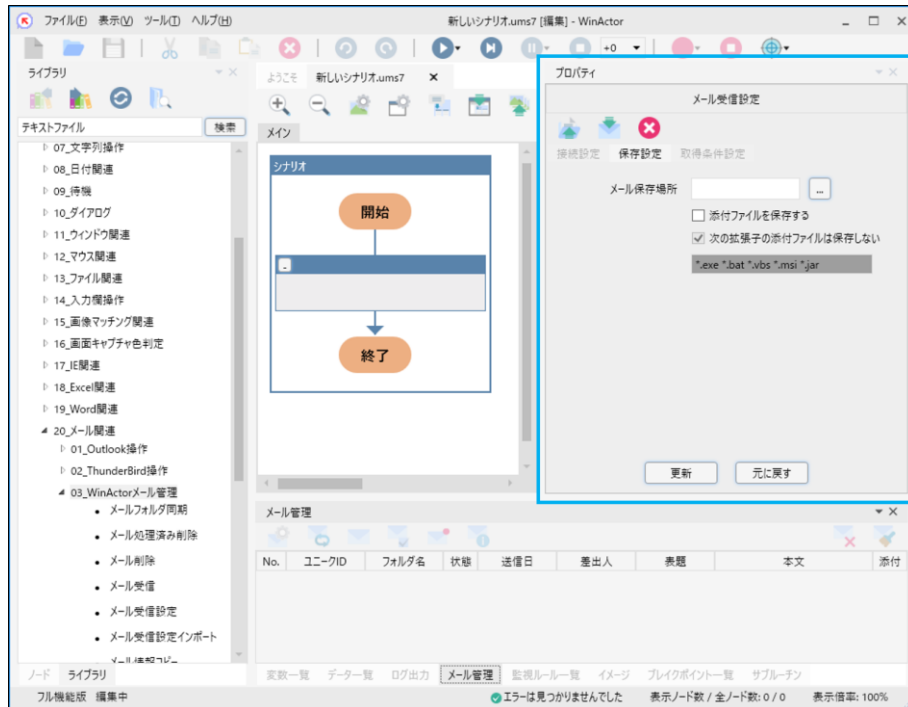


図 2-6 メール受信設定プロパティ(保存設定タブ)

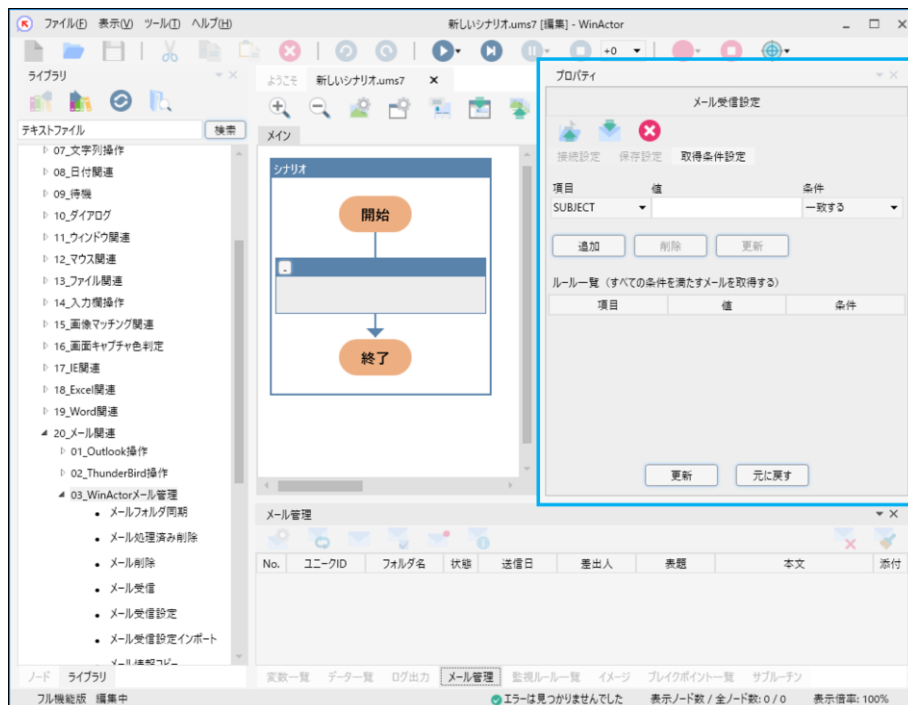


図 2-7 メール受信設定プロパティ(取得条件設定タブ)

## WinActor メール受信シナリオ作成マニュアル

- ③ 各プロパティ項目を設定し、更新ボタンをクリックします。各プロパティ項目の説明を次の表に示します。

表 2-1 メール受信設定プロパティ(接続設定タブ)

No	項目	説明
1	ホスト名	メールサーバの URL、または IP アドレスを指定します。(必須)
2	ユーザ名	メールサーバにログインするユーザ名を指定します。(必須)
3	パスワード	メールサーバにログインするパスワードを指定します。(必須)
4	認証方式	USER/PASS 認証、APOP 認証から選択します。(必須)
5	ポート番号	メールサーバのポート番号を指定します。(必須)
6	接続の保護	メールサーバ接続時の保護モードを下記から選択します。(必須)
		しない   保護なし(POP3)
		TLS/SSL   保護あり(POP3S)
		STARTTLS   保護あり(STARTTLS)
7	接続タイムアウト	メールサーバへの接続タイムアウトの時間を指定します。
8	メール受信タイムアウト	メールサーバからのメール受信応答のタイムアウト時間を指定します。
9	取得したメールをサーバから消去	メール受信時に受信メールをメールサーバから削除する場合にチェックを付けます。 既に受信済みのメールがメールサーバに残っている場合、それらのメールも削除します。

表 2-2 メール受信設定プロパティ(保存設定タブ)

No	項目	説明
1	メール保存場所	受信メールの格納先フォルダをファイルパスで指定します。(必須) ファイルパスに相対パスを指定した場合、基準パスには WinActor パスとインストールパスのみを使用します。シナリオパスは基準パスとして使用しません。 (ファイルパス、相対パス、基準パスについては、『WinActor 操作マニュアル』を参照してください。)
2	添付ファイルを保存する	メール受信時に添付ファイルを保存する場合にチェックを付けます。
3	次の拡張子の添付ファイルは保存しない	添付ファイルを保存する際に、特定の拡張子ファイルを保存しない場合にチェックを付けます。 添付ファイルを保存するにチェックがある場合のみ、設定が有効となります。
4	拡張子入力欄	「次の拡張子の添付ファイルは保存しない」で指定する拡張子入力欄です。 拡張子の指定は「*(任意の拡張子)」で行います。半角スペースが区切り文字となり、半角スペースで複数の拡張子を指定できます。

## WinActor メール受信シナリオ作成マニュアル

表 2-3 メール受信設定プロパティ(取得条件設定タブ)

No	項目	説明	
1	項目	メールの取得条件の項目を下記から選択します。	
		SUBJECT	メールの件名
		TO	メールの宛先アドレス
		FROM	メールの送信元アドレス
2	値	条件の内容を 40 文字以内で記載します。	
3	条件	No1,2 に対する取得条件を下記から選択します。	
		一致する	完全一致
		を含む	部分一致
		で始まる	先頭文字列として一致
		で終わる	末尾文字列として一致
		正規表現	正規表現として一致
4	追加	No1,2,3 の組み合わせをルール一覧に追加します。	
5	更新	ルール一覧から選択した情報を更新します。	
6	削除	ルール一覧から選択した情報を削除します。	
7	ルール一覧	追加した取得条件を表示します。 ※すべての条件を満たすメールを受信します。	

# WinActor メール受信シナリオ作成マニュアル

## 2.2.2 メール受信設定インポート

この章では、メール受信設定インポートノードを使用したメール受信設定方法について記載します。メール管理タブにて設定した内容を、インポートすることでメール受信設定内容をシナリオ上で反映することができます。

「メール受信設定インポート」にてインポートした設定は、シナリオ実行中のみ有効となります。シナリオ実行完了後はメール管理画面の設定が有効になります。

- ① インポートするファイルを作成するため、メール受信設定プロパティのメール受信設定エクスポートボタンを押し、設定内容をファイルに出力します。  
(メール管理タブでの設定は『2.2.1 メール管理タブのメール受信設定』を参照ください。)

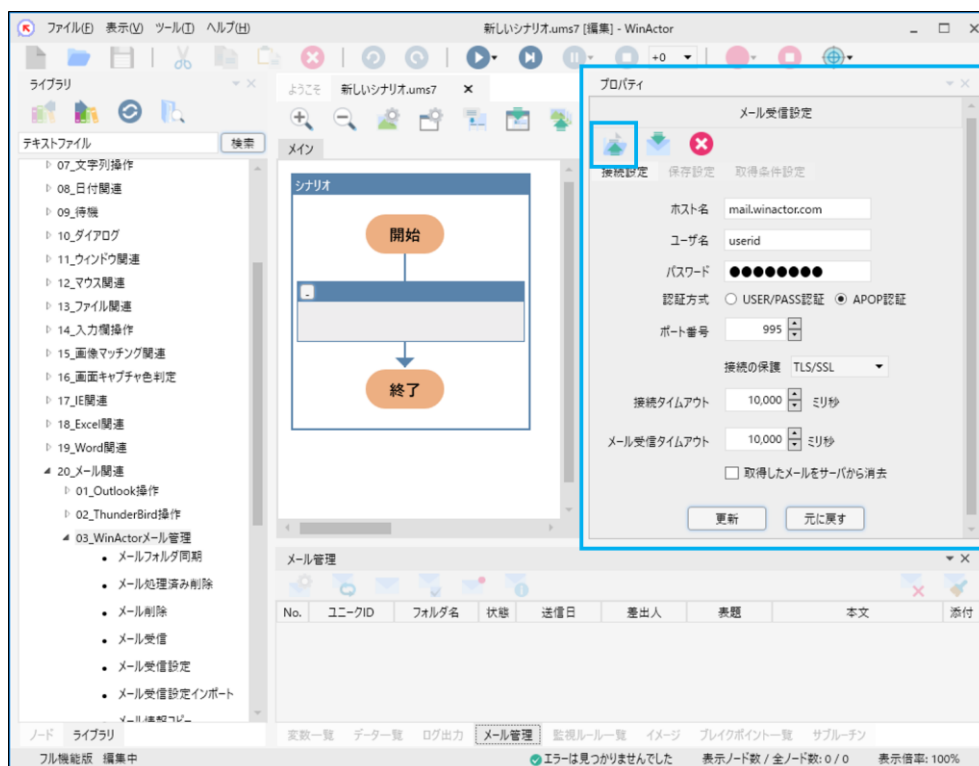


図 2-8 メール受信設定プロパティで設定内容のエクスポート

## WinActor メール受信シナリオ作成マニュアル

### ② メール受信設定インポートノードを配置します。

メール受信設定インポートノードは、ライブラリから「メール受信設定インポート」を選択し、シナリオに配置します。

このアクションを実行することで、メール受信に関する設定をインポートします。

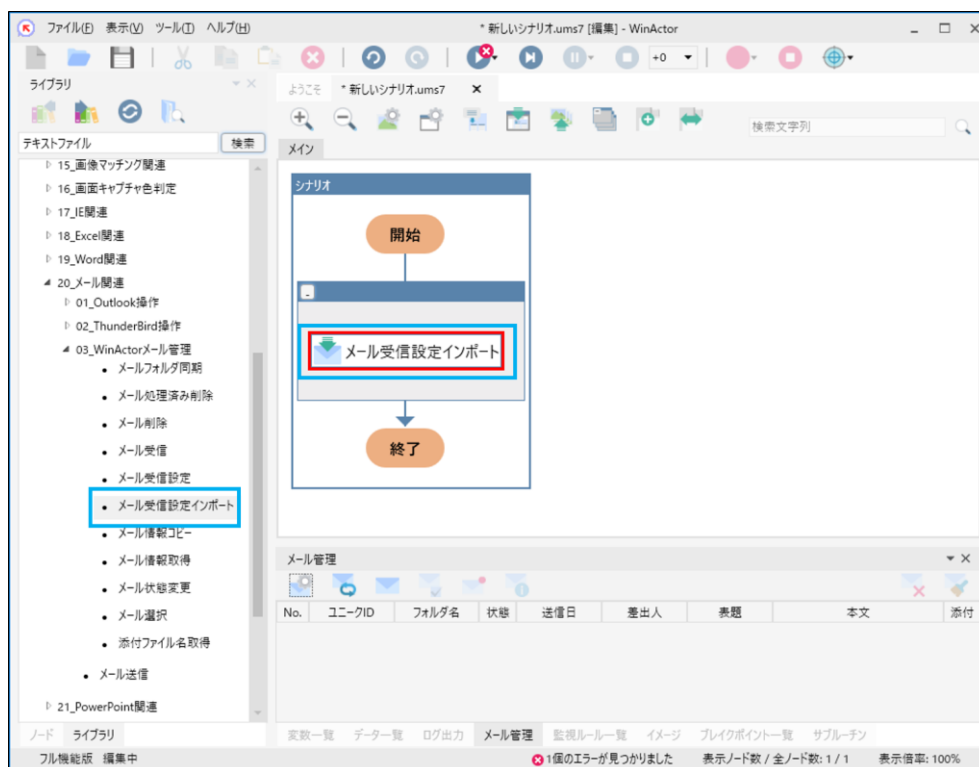


図 2-9 「メール受信設定インポート」をシナリオに配置

## WinActor メール受信シナリオ作成マニュアル

- ③ シナリオに配置した「メール受信設定インポート」をダブルクリックしてプロパティを表示します。

表示されたプロパティに設定を行います。設定内容は『表 2-4 「メール受信設定インポート」プロパティ項目一覧』を参照ください。

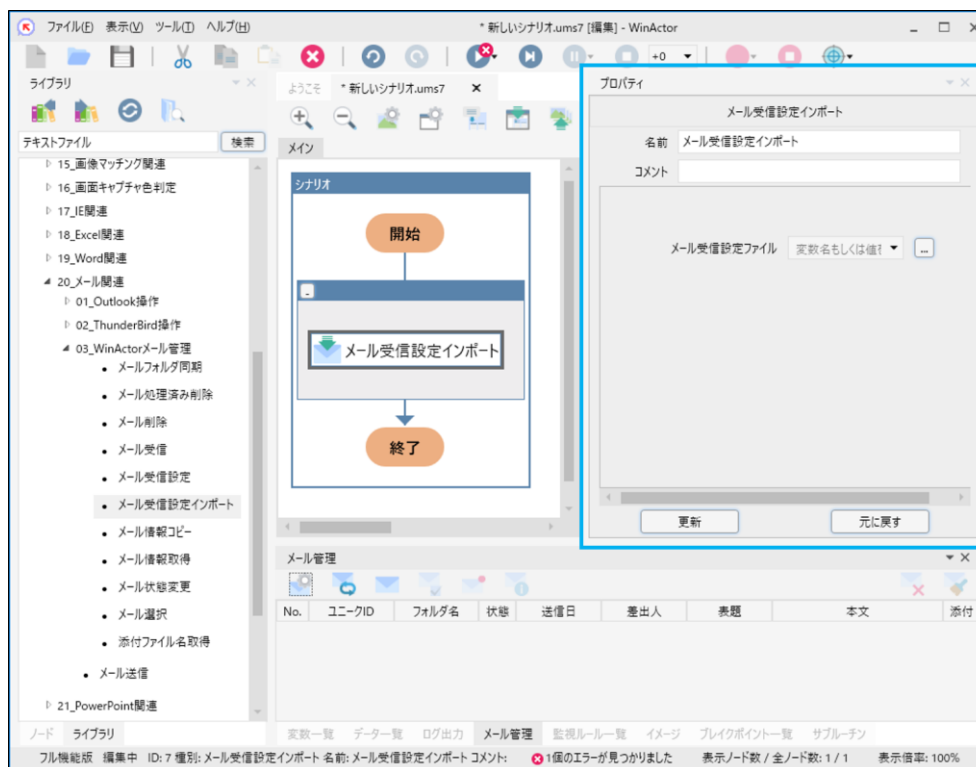


図 2-10 プロパティ - メール受信設定インポート

表 2-4 「メール受信設定インポート」プロパティ項目一覧

No	プロパティ項目	説明
1	メール受信設定ファイル	インポートするファイルパスを直接入力、または、変数で指定します。ファイルパスは絶対パスで指定します。

# WinActor メール受信シナリオ作成マニュアル

## 2.2.3 メール受信設定

この章では、メール受信設定ノードを使用したメール受信設定方法について記載します。

メール受信設定は、シナリオ実行中のみ有効となります。シナリオ実行完了後はメール管理画面の設定が有効になります。

① メール受信設定ノードを配置します。

メール受信設定ノードは、ライブラリから「メール受信設定」を選択し、シナリオに配置します。このアクションを実行することで、メール受信に関する設定をします。

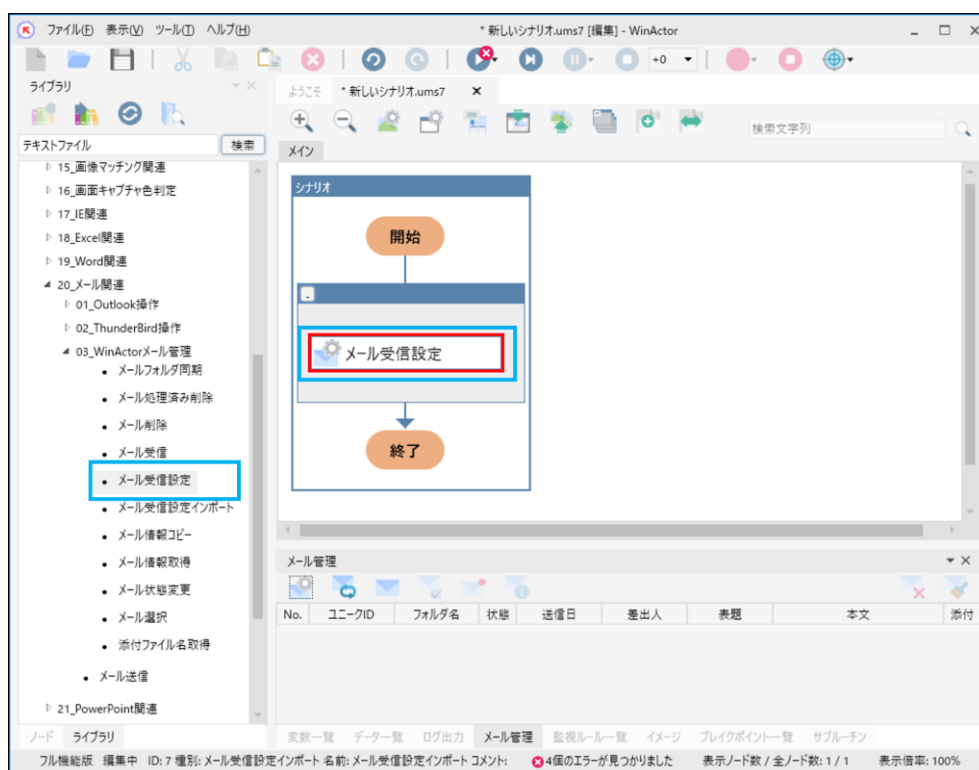


図 2-11 「メール受信設定」をシナリオに配置

# WinActor メール受信シナリオ作成マニュアル

② シナリオに配置した「メール受信設定」をダブルクリックしてプロパティを表示します。

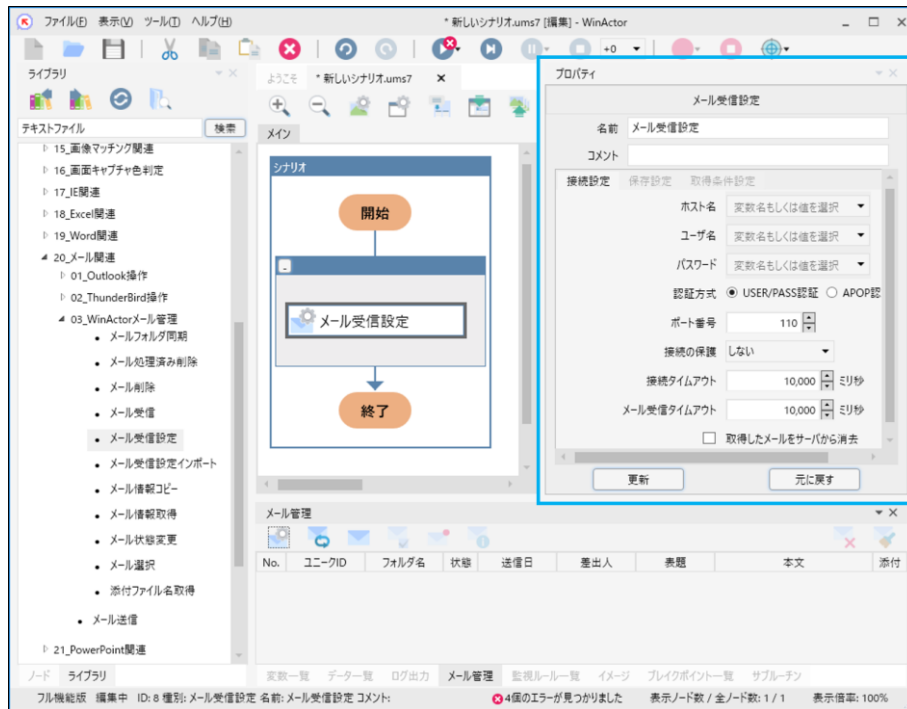


図 2-12 「メール受信設定」プロパティ(接続設定)

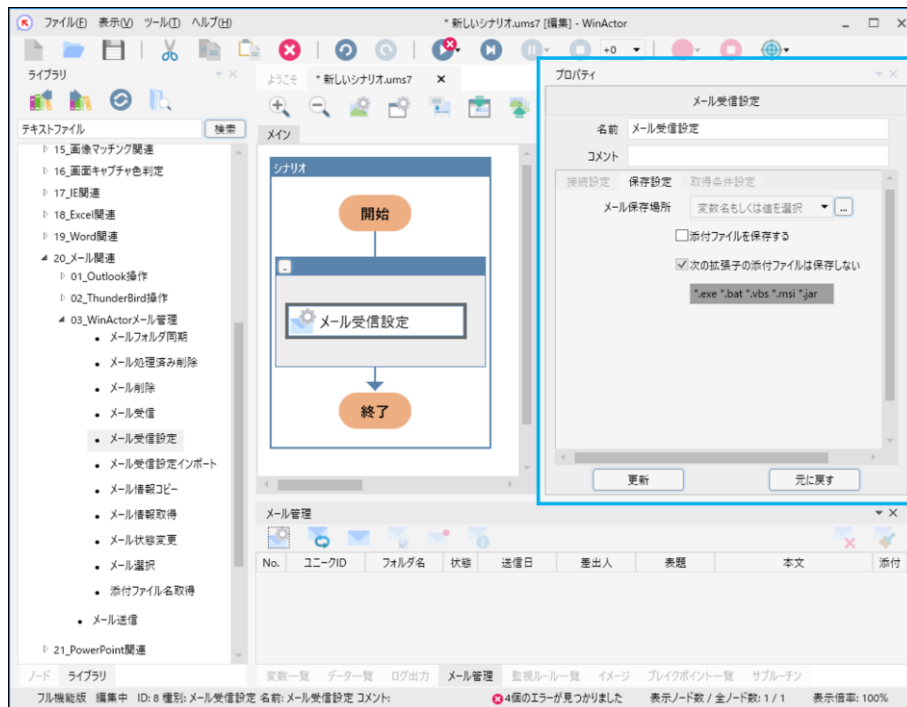


図 2-13 「メール受信設定」プロパティ(保存設定)



# WinActor メール受信シナリオ作成マニュアル

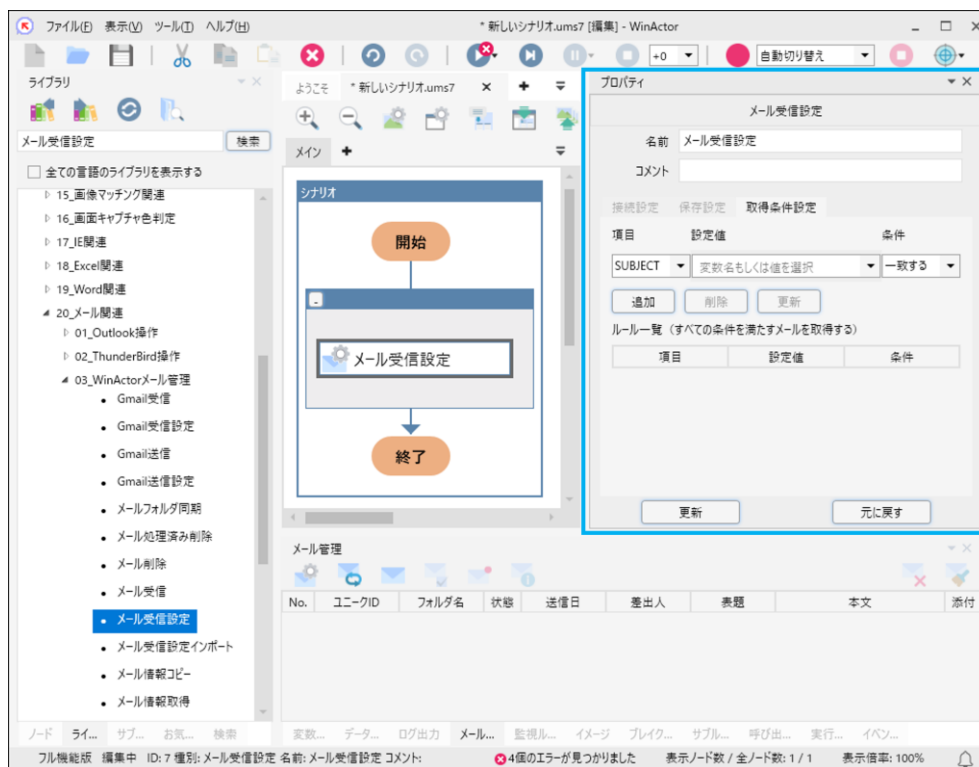


図 2-14 「メール受信設定」プロパティ(取得条件設定)

## WinActor メール受信シナリオ作成マニュアル

- ③ 各プロパティ項目を設定し、更新ボタンをクリックします。各プロパティ項目の説明を次の表に示します。

表 2-5 「メール受信設定(接続設定)」のプロパティ項目一覧

No	プロパティ項目	説明	
1	ホスト名	メール受信サーバのホスト名を設定します。 直接入力、または、変数で指定します。	
2	ユーザ名	メール受信サーバに接続する際のユーザ名を設定します。 直接入力、または、変数で指定します。	
3	パスワード	メール受信サーバに接続する際のパスワードを設定します。直接入力、または、変数で指定します。	
4	認証方式	メール受信サーバに接続する際の認証方式を設定します。 詳細は『1.2 認証方式』を参照。	
5	ポート番号	メール受信サーバに接続する際の PC 側のポート番号を設定します。 (デフォルトは 110 番)	
6	接続の保護	メールサーバ接続時の保護モードを下記から選択します。	
		しない	保護なし(POP3)
		TLS/SSL	保護あり(POP3S)
		STARTTLS	保護あり(STARTTLS)
7	接続タイムアウト	メール受信サーバに接続する際のタイムアウト時間を設定します。 (デフォルトは 10,000 ミリ秒) ※21,000 ミリ秒を超える時間を設定した場合、タイムアウト時間は 21,000 ミリ秒になります。	
8	メール受信タイムアウト	メール受信する際のタイムアウト時間を設定します。(デフォルトは 10,000 ミリ秒)	
9	取得したメールをサーバから消去	メール受信時に受信メールをメールサーバから削除する場合にチェックを付けます。 既に受信済みのメールがメールサーバに残っている場合、それらのメールも削除します。	

## WinActor メール受信シナリオ作成マニュアル

表 2-6 「メール受信設定(保存設定)」のプロパティ項目一覧

No	プロパティ項目	説明
1	メール保存場所	受信したメールを保存するフォルダを指定します。
2	添付ファイルを保存する	チェックが入っている場合に添付ファイルを保存します。
3	次の拡張子の添付ファイルは保存しない	チェックが入っている場合、該当する拡張子の添付ファイルは保存しなくなります。 ※「添付ファイルを保存する」にチェックが入っている場合にのみ有効となる項目です。
4	拡張子入力欄	「次の拡張子の添付ファイルは保存しない」で指定する拡張子入力欄です。 拡張子の指定は「*(任意の拡張子)」で行います。半角スペースが区切り文字となり、半角スペースで複数の拡張子を指定できます。

表 2-7 「メール受信設定(取得条件設定)」のプロパティ項目一覧

No	プロパティ項目	説明	
1	項目	メールの取得条件の項目を下記から選択します。	
		SUBJECT	メールの件名
		TO	メールの宛先アドレス
		FROM	メールの送信元アドレス
2	設定値	条件の内容を 40 文字以内で記載します。	
3	条件	No1,2 に対する取得条件を下記から選択します。	
		一致する	完全一致
		を含む	部分一致
		で始まる	先頭文字列として一致
		で終わる	末尾文字列として一致
		正規表現	正規表現として一致
4	追加	No1,2,3 の組み合わせをルール一覧に追加します。	
5	更新	ルール一覧から選択した情報を更新します。	
6	削除	ルール一覧から選択した情報を削除します。	
7	ルール一覧	追加した取得条件を表示します。 ※すべての条件を満たすメールを受信します。	

# WinActor メール受信シナリオ作成マニュアル

## 2.3 メール受信

- ① ライブラリから「メール受信」を選択し、シナリオに配置します。このアクションを実行することで、メール受信サーバに対して、メール受信の要求を行います。  
受信メールには、会議予約メールなどの一部受信できないメールがあります。

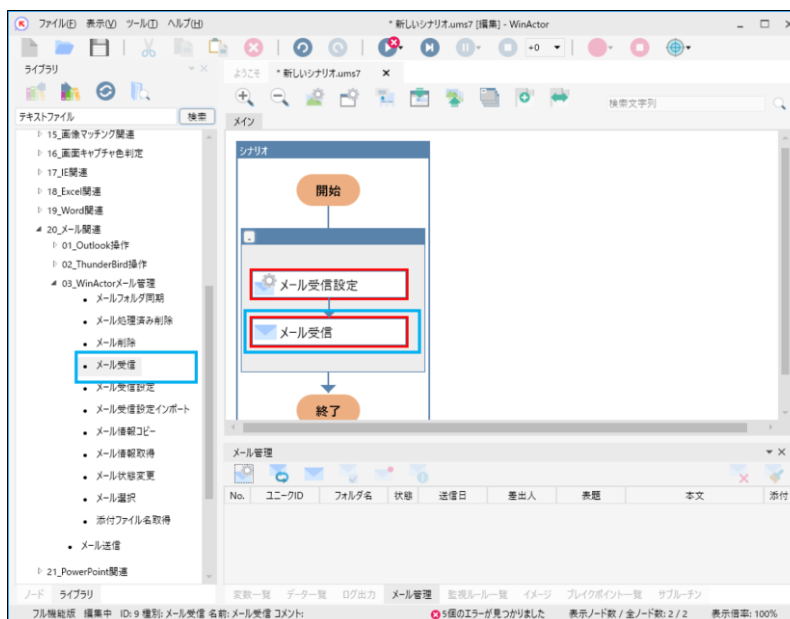


図 2-15 「メール受信」をシナリオに配置

- ② シナリオに配置した「メール受信」をダブルクリックしてプロパティを表示します。

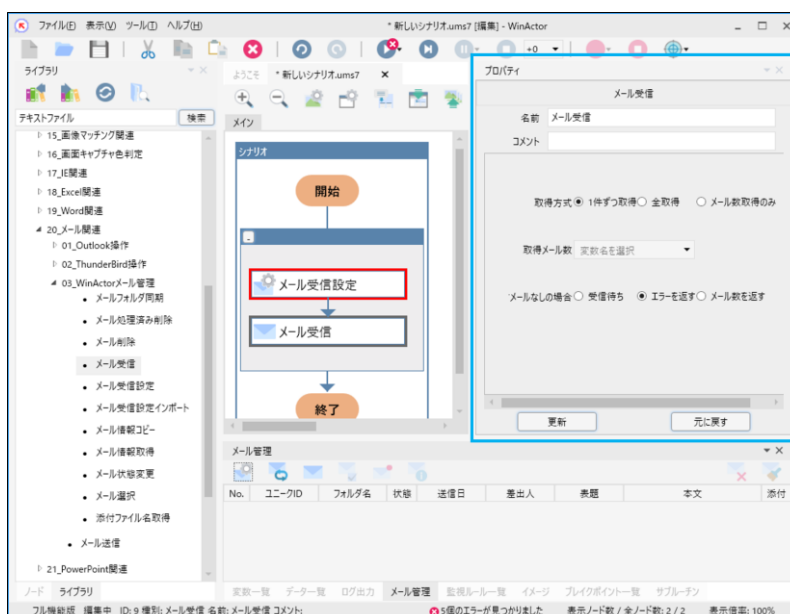


図 2-16 「メール受信」プロパティ

## WinActor メール受信シナリオ作成マニュアル

- ③ 各プロパティ項目を設定し、更新ボタンをクリックします。各プロパティ項目の説明を次の表に示します。

表 2-8 「メール受信」のプロパティ項目一覧

No	プロパティ項目	説明	
1	取得方式	取得方式について下記より選択します。	
		1 件ずつ取得	サーバ上にあるメールを 1 件ずつ取得します。
		全取得	サーバ上にある全メールを取得します。
		メール数取得のみ	サーバ上にあるメール数のみ取得します。
2	取得メール数	取得メール数を格納する「変数名」を指定します。	
3	受信メールなしの場合	受信メールが 0 件だった場合の動作について、下記より選択します。	
		受信待ち	受信があるまで待機します。
		エラーを返す	エラー応答を返します。
		メール数を返す	メール数を返します。(0 件)

以降、操作したい内容に応じて、「20\_メール関連」からライブラリをシナリオに配置します。

# WinActor メール受信シナリオ作成マニュアル

## 2.4 メール選択

受信メールを選択状態にすることで、選択されているメール情報の取得、および削除、状態の変更を行うことができます。

- ① ライブラリから「メール選択」を選択し、シナリオに配置します。このアクションを実行することで、受信したメールを選択した状態に変更します。  
選択状態はメール管理タブで確認することができます。

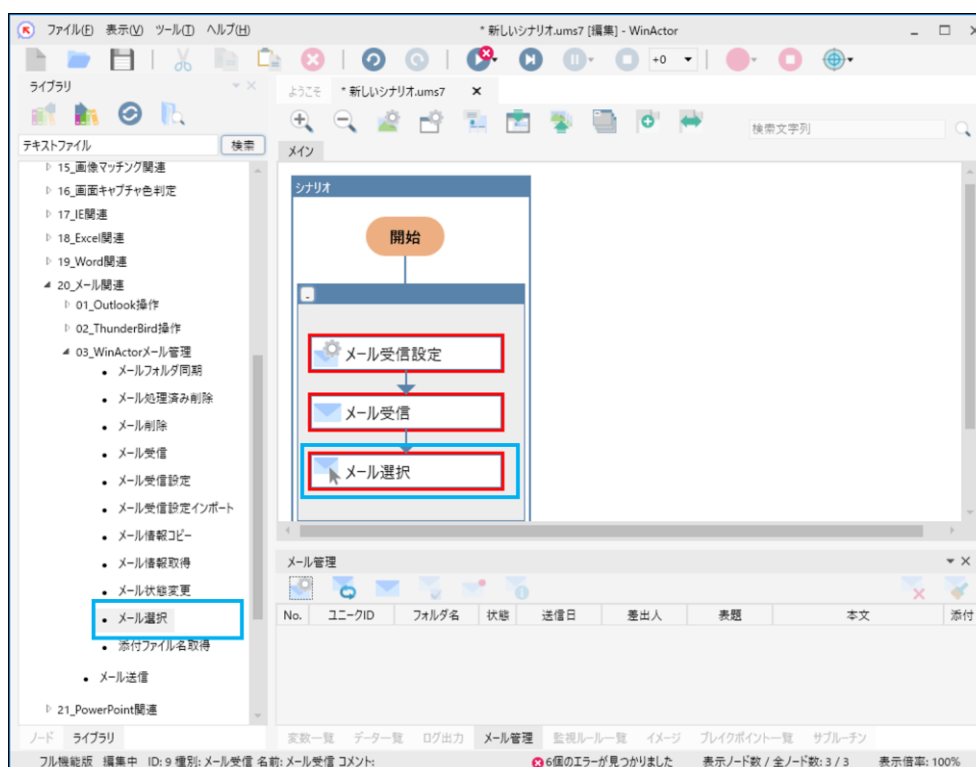


図 2-17 「メール選択」をシナリオに配置

# WinActor メール受信シナリオ作成マニュアル

② シナリオに配置した「メール選択」をダブルクリックしてプロパティを表示します。

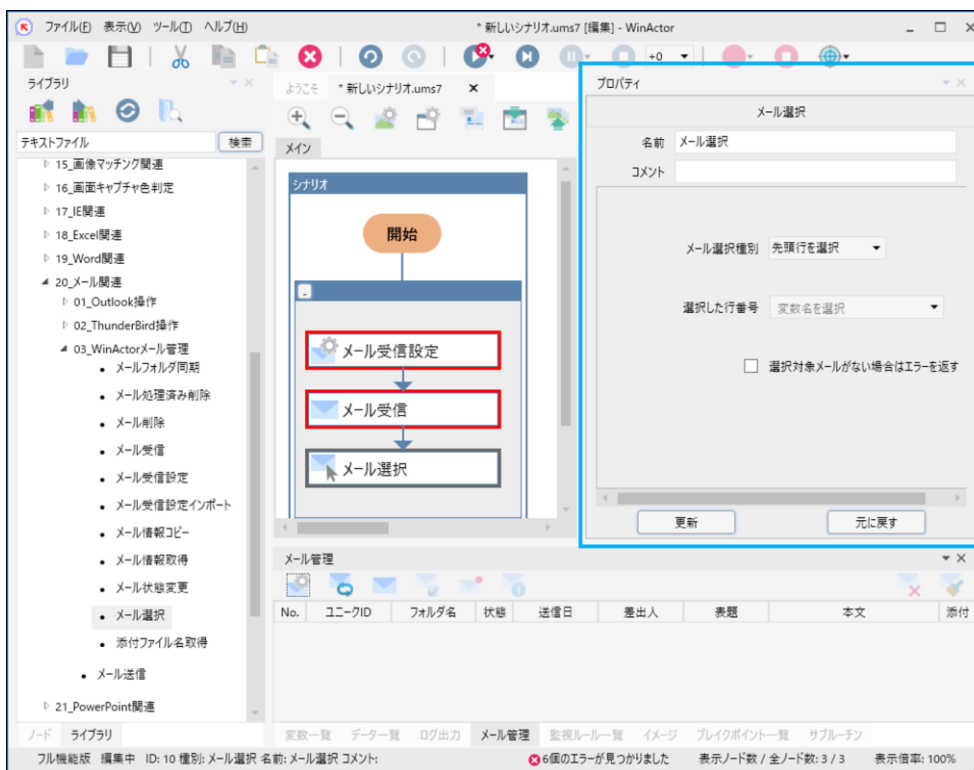


図 2-18 「メール選択」プロパティ

## WinActor メール受信シナリオ作成マニュアル

- ③ 各プロパティ項目を設定し、更新ボタンをクリックします。各プロパティ項目の説明を次の表に示します。

表 2-9 「メール選択」のプロパティ項目一覧

No	プロパティ項目	説明	
1	メール選択種別	メール選択する方法を下記より選択します。	
		先頭行を選択	先頭行を選択します。
		未処理の先頭行を選択	未処理メールの内の先頭行を選択します。
		処理済みの先頭行を選択	処理済みメールの内の先頭行を選択します。
		次の行を選択	現在選択行を基準にして、次の行を選択します。※1
		次の未処理行を選択	現在選択行を基準にして、次の未処理メールを選択します。※1
		次の処理済み行を選択	現在選択行を基準にして、次の処理済みメールを選択します。※1
2	選択した行番号	選択したメールの行番号を格納する「変数名」を指定します。 ※2	
3	選択対象メールがない場合はエラーを返す	チェックが入っている場合、メール選択できない時にエラーを返します。	

※1 未選択状態もしくは複数行を選択している場合はエラーとなります。

※2「選択対象メールがない場合はエラーを返す」にチェックが入っていない状態で選択対象のメールが見つからなかった場合、選択位置は変更されず、「選択した行番号」には現在選択されている行番号が設定されます。



# WinActor メール受信シナリオ作成マニュアル

## 2.5 メール情報取得

受信したメールの情報を取得する場合の説明をします。

メール情報を取得する際は、先に取得したいメールを選択する必要があります。(メール選択は、『2.4 メール選択』を参照ください)

- ① ライブラリから「メール情報取得」を選択し、シナリオに配置します。このアクションを実行することで、現在選択しているメールの情報を取得します。

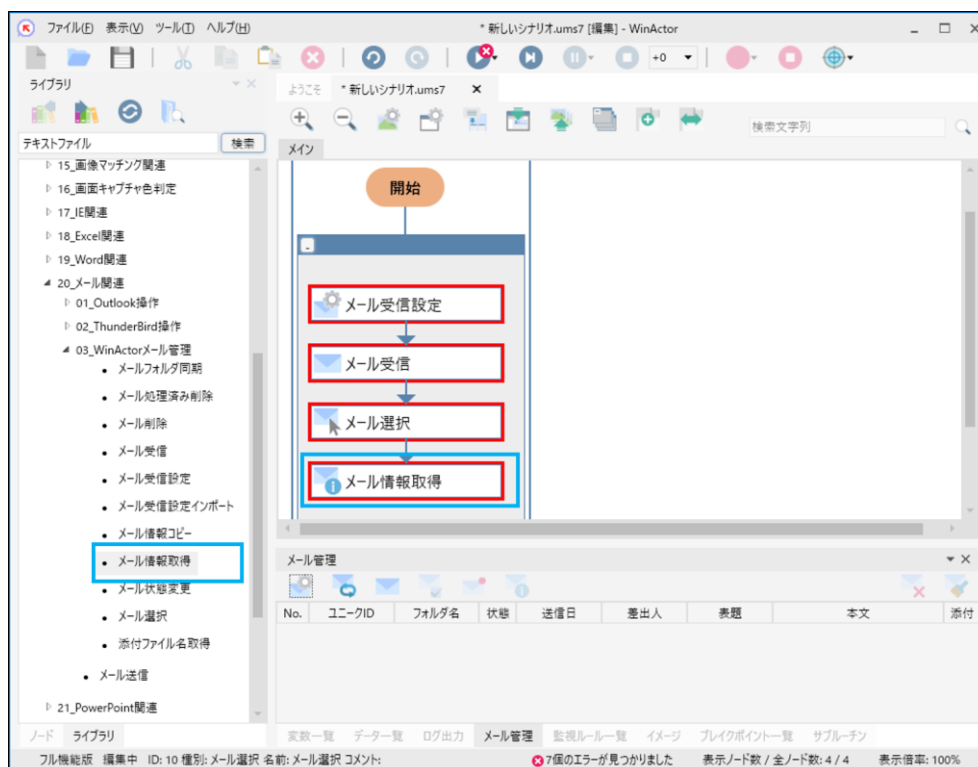
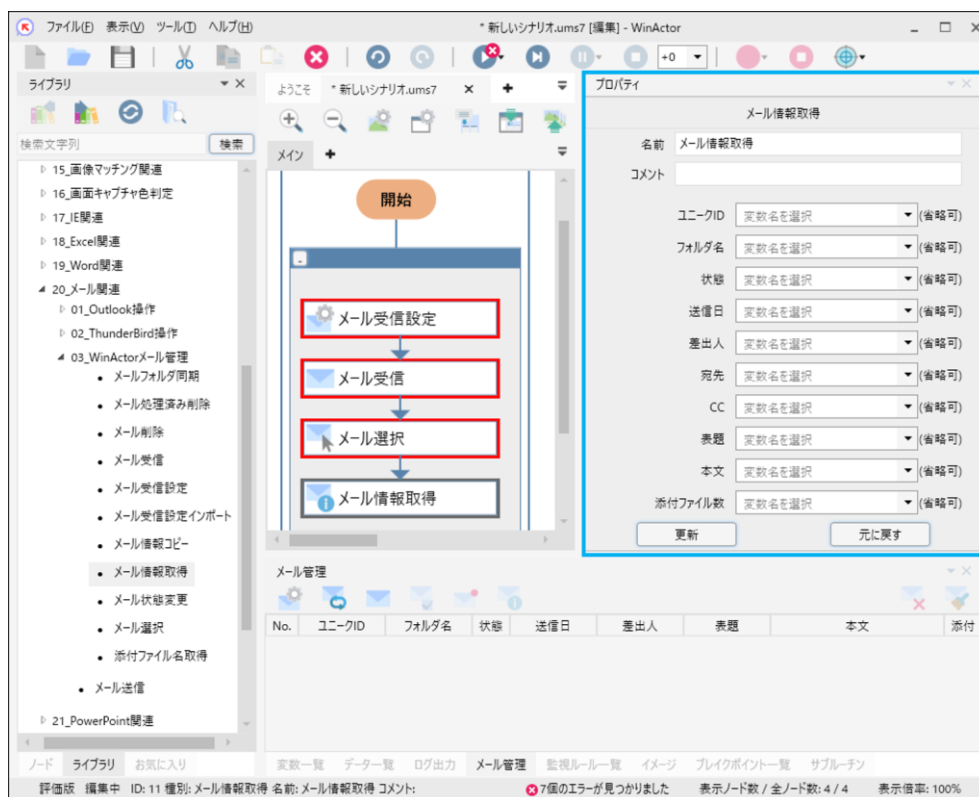


図 2-19 「メール情報取得」をシナリオに配置

## WinActor メール受信シナリオ作成マニュアル

② シナリオに配置した「メール情報取得」をダブルクリックしてプロパティを表示します。



## WinActor メール受信シナリオ作成マニュアル

- ③ 各プロパティ項目を設定し、更新ボタンをクリックします。各プロパティ項目の説明を次の表に示します。

表 2-10 「メール情報取得」のプロパティ項目一覧

No	プロパティ項目	説明
1	ユニークID	メールを一意に識別するIDを指定変数に設定します。
2	フォルダ名	メールが保存されているフォルダ名(絶対パス)を指定変数に設定します。
3	状態	メールの状態(未処理/処理済み)を指定変数に設定します。
4	送信日	メールの送信日時を指定変数に設定します。送信日時が存在しないメールは、受信日時が設定されます。 日付とタイムゾーンは、シナリオ情報で指定した日付形式、タイムゾーンが適用されます。
5	差出人	メールの送信元情報を指定変数に設定します。
6	宛先	メールの宛先を指定変数に設定します。 宛先が複数人の場合は「 , 」で区切られます。
7	CC	メールのCCを指定変数に設定します。 CCが複数人の場合は「 , 」で区切られます。
8	表題	メールの件名を指定変数に設定します。
9	本文	メールの本文を指定変数に設定します。
10	添付ファイル数	メールに添付されているファイルの数を指定変数に設定します。

- 対象のメールがhtmlメールの場合、添付ファイルとして「attach\_1.txt」が作成されます。

## 3 ライブラリ・プロパティの一覧

「20\_メール関連」の「03\_WinActor メール管理」以下で提供されるライブラリと、各ライブラリのプロパティ項目を示します。

### 3.1 メールフォルダ同期

メール管理画面と実際に受信したメール情報とを同期させる際に使用します。

シナリオ上で「メール受信設定」を実行している場合は、「メール受信設定」のプロパティ設定に従い同期を行います。

シナリオ上で「メール受信設定」が未実行の場合は、メール管理画面のメール受信設定に従い、同期を行います。

表 3-1 ライブラリ・プロパティ項目

ライブラリ名	プロパティ項目	説明
メールフォルダ同期	—	—

### 3.2 メール処理済み削除

処理済みメールを削除させる際に使用します。

メール処理済み削除の実行前にはメール管理画面でメール受信設定を行うか、シナリオ中で「メール受信設定」、「メールフォルダ同期」または「メール受信」を実行する必要があります。

表 3-2 ライブラリ・プロパティ項目

ライブラリ名	プロパティ項目	説明
メール処理済み削除	削除したメール数	削除したメール件数を格納する「変数名」を指定します。

## WinActor メール受信シナリオ作成マニュアル

### 3.3 メール削除

選択中メールを削除させる際に使用します。

メール削除の実行前にはメール管理画面でメール受信設定を行うか、シナリオ中で「メール受信設定」、「メールフォルダ同期」または「メール受信」を実行する必要があります。

表 3-3 ライブラリ・プロパティ項目

ライブラリ名	プロパティ項目	説明
メール削除	—	—

### 3.4 メール受信

メールを受信させる際に使用します。

プロパティ項目は、『表 2-8 「メール受信」のプロパティ項目一覧』を参照。

### 3.5 メール受信設定

メール受信に関する設定をさせる際に使用します。

プロパティ項目は、下記を参照。

『表 2-5 「メール受信設定(接続設定)」のプロパティ項目一覧』

『表 2-6 「メール受信設定(保存設定)」のプロパティ項目一覧』

『表 2-7 「メール受信設定(取得条件設定)」のプロパティ項目一覧』

### 3.6 メール受信設定インポート

メール受信設定をインポートさせる際に使用します。

「メール受信設定インポート」にてインポートした設定は、シナリオ実行中のみ有効となります。シナリオ実行完了後はメール管理画面の設定が有効になります。

プロパティ項目は、『表 2-4 「メール受信設定インポート」プロパティ項目一覧』を参照。

## WinActor メール受信シナリオ作成マニュアル

### 3.7 メール情報コピー

選択中メールの情報をコピーさせる際に使用します。(クリップボードにコピーされます)

表 3-4 ライブラリ・プロパティ項目

ライブラリ名	プロパティ項目	説明
メール情報コピー	詳細情報	コピー対象の項目を指定します。
	1 ユニーク ID	メールを一意に識別する ID。
	2 フォルダ名	メールが保存されているフォルダ名。
	3 状態	メールの状態。(未処理/処理済み)
	4 送信日	メールが送信された日時。 送信日時がないメールは、受信日時が設定されます。日付とタイムゾーンは、シナリオ情報の日付形式、タイムゾーンで設定されます。
	5 差出人	メールの送信元アドレス。
	6 表題	メールの件名。
	7 本文	メールの本文。
8 添付ファイル数	メールに添付されているファイルの数。	

## WinActor メール受信シナリオ作成マニュアル

### 3.8 メール情報取得

選択中メールの情報を取得させる際に使用します。

プロパティ項目は、『表 2-10 「メール情報取得」のプロパティ項目一覧』を参照。

### 3.9 メール状態変更

選択中メールの状態を変更させる際に使用します。

表 3-5 ライブラリ・プロパティ項目

ライブラリ名	プロパティ項目	説明
メール状態変更	メール状態変更種別	変更したい状態を指定します。
	1 未処理	受信した初期状態。
	2 処理済み	処理済みの状態。

### 3.10 メール選択

受信メールを一覧から選択させる際に使用します。

プロパティ項目は、『表 2-9 「メール選択」のプロパティ項目一覧』を参照。

### 3.11 添付ファイル名取得

添付ファイル名を取得させる際に使用します。

表 3-6 ライブラリ・プロパティ項目

ライブラリ名	プロパティ項目	説明
添付ファイル名取得	添付ファイル番号	添付ファイルの番号を指定します。 直接入力、または、変数で指定します。
	添付ファイル名	添付ファイル名を格納する「変数名」を指定します。



---

NTTアドバンステクノロジー株式会社

Copyright© 2022 NTT Advanced Technology Corp. All Rights Reserved.

本書は著作権法上の保護を受けています。本書の一部あるいは全部を無断で複写、複製することは禁じられています。

WA7-E-20220208

---